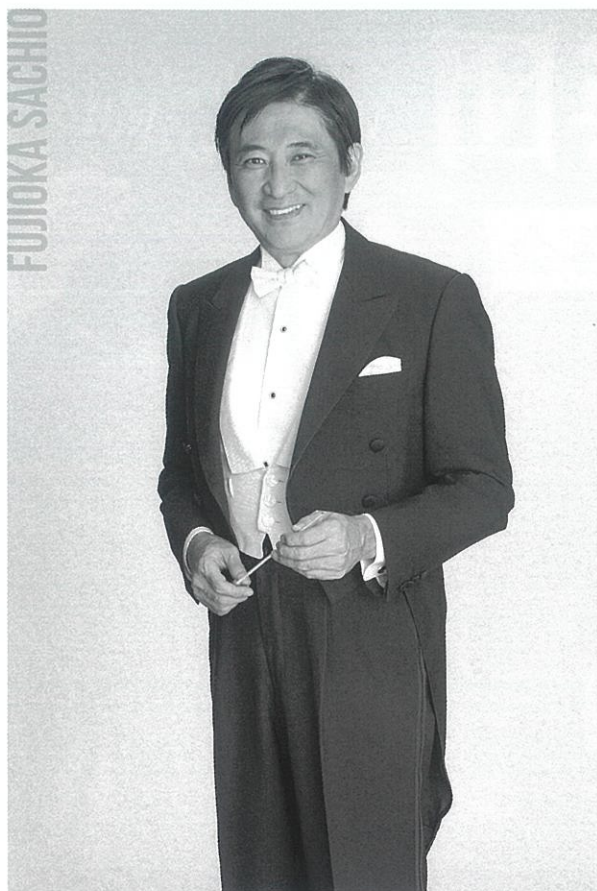


指揮：藤岡幸夫



©SHIN YAMAGISHI

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。

1993年BBCフィルの定期演奏会が「タイムズ」紙などで高く評価され、翌1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー。以降、数多くの海外オーケストラに客演。オペラでも2006年にブリテン「ねじの回転」、2009年にR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」を指揮したスペイン国立オヴィエド歌劇場で脚光を浴びた。2016年にはブリュッセルでA.デュメイ、V.アファナシエフと共演。2017年5月にはアイルランド国立交響楽団にマーラーの第5交響曲で客演、聴衆総立ちの大成功を取めた。

マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在、関西フィル首席指揮者、東京シティ・フィル首席客演指揮者。毎年40公演以上を指揮し、2024年に25年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得ている。

放送出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8時半)は10年目を迎え、放送500回にせまる人気番組。

2020年にエッセイ集「音楽はお好きですか？」(敬文舎)を、2021年続刊を刊行。

東大阪市特別顧問。滋賀県長浜市PR大使(文化観光大使)。きょうと城陽応援大使。門真情熱大使。

▶公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

▶X (旧Twitter) アカウント @sacchiyo0608

管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団



©s.yamamoto

1970年発足、2018年公益財団法人化。関西を代表するオーケストラの一つとして文化的・社会的貢献を果たすため、積極的に活動を続けている。2020年に楽団創立50周年を迎えた。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが音楽監督に、藤岡幸夫が首席指揮者に、鈴木優人が首席客演指揮者に就任している。故飯守泰次郎(2023年8月没)は01年より常任指揮者、11年より桂冠名誉指揮者を務めた。

東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。演者と聴衆、舞台と客席、垣根を越えての交流を図り、関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。

聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開、クラシック音楽の裾野を広げる活動など、明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。

2021年度に飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」が、2022年度に山田和樹×関西フィルほか大阪4楽団「シューベルト交響曲全曲演奏会」が音楽クリティッククラブ賞本賞を受賞。

2023年10月には楽団2回目となる欧州公演(3カ国3都市)を開催、各地で大きな注目を集めた。

BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に藤岡幸夫と共に出演中。

▶オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

▶X (旧Twitter) アカウント @kansaiphil